

倉庫業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	6～7	当営業所構内にて、自社トラックへの積込作業中、荷台の運転手を手伝っていたところ、後部パワーゲート上で別の荷につまずきバランスをくずし、倒れそうになったので飛び降りた際に、左足踵を強打し、骨折した。	65	—
5	13～14	派遣先構内作業場において、派遣社員の作業員が荷をトラック（コンテナ）に積み込んだ後、その荷台（1m位の高さ）から飛び下りた際にバランスを崩してアスファルトの地面に落下した。その際に右足を地面に打ちつけて靭帯を損傷し、左手を捻挫（軽傷）した。	34	1～9
6	17～18	同僚乗務員の積み込みの手伝いをしている最中に、被災乗務員が、荷締めの確認で隣に接車していたA号車に移り、荷締めの状態を確認して再びB号車に戻ろうとした際に、誤って右足を踏み外してしまい、B号車のアオリに右肋骨を強打してしまった。1日様子を見たが痛みは改善されず、翌日、肋骨にヒビが入っており、全治14日間と診断された。	33	50～99
9	19～20	作業を行う仕分場に行く為にトラックの発着場を通ろうとした際、飛び出して来たトラックの左前方部が、当該人の右肩に接触し負傷した。	53	300～499
9	17～18	トラック荷台上で、左サイドをよじ登りルーフスイッチを操作しようとした時、片手がすべり足を踏みはずし、約170cmの高さから地面に落下、左側骨盤付近を強打した。	38	100～299

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html